



2018-19年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

Weekly Report Niigata



2018～19 年度
新潟ロータリークラブ会長
若槻 良宏



インスピレーションになるう

国際ロータリー
2018-19 年度テーマ

インスピレーションになるう

新潟 RC 3月第 4例会 (2019.3.26) No.3275

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

(2) 若槻 良宏会長挨拶

皆様、こんにちは。本日は、今話題の第三者委員会について、お話をさせていただきます。ロータリーの4つのテスト(真実かどうか)にも関連すると思います。

先般のNGTの暴行事件に関し、平成31年3月18日付で株式会社AKS第三委員会調査報告書の全文がWEBで公表され、私も全文を読ませていただきました。

第三者委員会は、企業等において、犯罪行為、法令違反、社会的非難を招くような不正・不適切な行為等(以下「不祥事」といいます。)が発生した場合及び発生が疑われる場合において、企業等から独立した委員のみをもって構成され、徹底した調査を実施したうえで、専門家としての知見と経験に基づいて原因を分析し、必要に応じて具体的な再発防止策等を提言する委員会です(日弁連の企業等不祥事における第三者委員会ガイドライン参照、以下「日弁連ガイドライン」といいます。)

第三者委員会の目的は、全てのステークホルダーのために調査を実施し、その結果をステークホルダーに公表することで、最終的には企業等の信頼と持続可能性を回復することを目的とします(日弁連ガイドライン参照)。第三者委員会は、事実の調査、事実認定、原因分析等を行ったうえで、再発防止策等を提言しますが、その際には、ステークホルダーに対する説明責任を果たすことが重要なミッションになります。そのため、第三者委員会は、企業等から独立した立場で、企業等のステークホルダーのために、中立・公正で客観的な調査を行うことが求められます(日弁連ガイドライン参照)。

第三者委員会は、企業不祥事が起こった場合のスタンダードとして定着しつつありますが、他方で、近時、第三者委員会及び調査報告書に対する社会的信頼が低下しているという指摘があります。

まず、委員の独立性、中立性の観点から、企業等と利害関係を有する者は、委員に就任することはできませんが、こ

れに反すると思われる事例が散見されます。弁護士が関与するからといって安心できません。企業の顧問弁護士は委員には就任できませんし、関連企業の顧問弁護士や、関係者の関与弁護士も相当ではないと思われます。日本取引所自主規制法人作成の上場会社における不祥事対応のプリンシプルでは、「委員の選定プロセス」への配慮が求められており、委員の選定プロセスを含め、委員の独立性・中立性・専門性について詳細な記載が求められるのが通例になっているといえます。この観点から、AKS第三者委員会の報告書を検討しますと、委員の選定プロセスについての説明がない点が気になります。

次に、事実認定の正確性、説得力についても厳しい指摘がされることがあります。事実認定については、客観証拠に基づいて事実を追究しようとする姿勢が重要になりますが、不祥事の実態を明らかにするために、法律上の証明による厳格な事実認定に止まらず、疑いの程度を明示した灰色認定や疫学的認定を行うことができるとされています(日弁連ガイドライン)。この観点から、AKS第三者委員会の報告書を検討しますと、他のメンバーが本件事件に関与していることを示す証拠を確認できないとして、「本件事件について、メンバーが被疑者らとの間で何らかの共謀をした事実は認められなかった。」と結論づけました。しかしながら、被害の申告やこれを支える証拠があるにもかかわらず、疑いの程度を明示した灰色認定をせずに、共謀をした事実は認められなかったと断定した点が気になります。

近時は、第三者委員会の報告書を第三者が客観的に検証して格付けするための委員会(第三者委員会報告書格付け委員会)が設立されています。日弁連ガイドラインの作成に関わった弁護士のほか、学者、ジャーナリストが委員を務めています。この格付け委員会は、優れた報告書には賞賛を惜まず、表彰を行います。他方で、出来の良くない報告書には理由を付けて評価し、公表しています。第三者委員会の報告書のなかには、委員の全員が不合格(F評価)を付けたものもあります。

第三者委員会の報告書については、報告書の内容を鵜呑みにするのではなく、前述の第三者委員会の設置目的に照らして、その相当性について吟味することが求められているといえます。

(3) 一年交換学生Rane Biekerさん挨拶

(4) 退会挨拶・バナー贈呈

・明治安田生命保険(相)新潟支社

市場統括部長 森安 千博君

・キリンビール(株)新潟支社

支社長 森下 英樹君

(5) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(秋山 博一委員)

仙石 正和君 徳永 昭輝君

新田 幸壽君

米山奨学会寄付発表(仙石 正和副委員長)

金井 政則君

青少年育成基金寄付発表(本間 彊副委員長)

金井 政則君 田中堅一郎君

細野 義彦君 池上 茂樹君

本間 彊君

(8) 卓話「女性は酒に何を求めるのか？」

～にいがた美釀から学んだ日本酒の楽しみ方～

新潟青陵大学短期大学部人間総合学科助教

日本酒学講師 村山和恵氏



(9) 3月26日例会の出席率 74.71%

会員数 92名(出席免除会員 9名)

出席者 65名(出席免除会員 4名を含む)

(2週間前メーク後 81.32%)

(6) ニコニコボックス紹介(武田 眞二委員)

・森下 英樹君 本日が最後の例会になりました。2年間お世話になりありがとうございました。

・梅津 雅之君、村山先生のお話を伺い今夜の宴会に役立てようと思っております。酒サムライの村山先生とお酒にニコニコします。

(7) 幹事報告(大澤 強)

2560地区主催「山の会」ご案内。2019年6月1日、越後長野温泉 嵐溪荘 午後5時30分集合(午後3時以降、チェックインOK)、6月2日 番屋山登山、詳細、参加希望の方は幹事、事務局までご連絡下さい。

4月9日の例会予定

観桜例会 於 ハミングプラザビップ新潟

17:00受付17:30開会

新潟ロータリークラブホームページアドレス
<http://www.niigatarc.jp/>